

要 旨

PICKLES OS のコンセプトに基づいた 定点観測システムの運用保守の効率化手法

田 淵 理 恵

本論文では、定点観測システムの運用保守の効率を上げるために、PICKLES [1] の概念を用いたアーキテクチャを提案する。

定点観測システムとは、特定の地点における気象や景観データをインターネットを介して教育教材として提供するシステムである [8][6]。現在、定点観測システムが稼働してから 2 年が経ち、運用保守のコストが増大するという問題が生じてきている。

PICKLES OS とは公衆情報端末用に構築された OS である。この OS の特徴である、「共通の利用者環境の提供」と「ホストに依存した情報と全ホストで共有できる情報との明確な分離」を導入することにより、定点観測システムの運用・保守面での問題を解決できると考える。

この考察に基づき、プロトタイプを作成し、運用保守にかかるコストの比較検討を行った。シミュレーションの結果より、提案したアーキテクチャの方が保守性が上がることが分かった。

キーワード PICKLES OS, 定点観測システム, 運用・保守, 効率化

Abstract

A Maintenance Method for Fixed Point Observation System based on the Concept of PICKLES OS

Rie TABUCHI

This paper proposes a maintenance method for fixed point observation system based on the concept of PICKLES OS.

The fixed point observation system provides weather reports and landscape image data through the Internet for education subjects.

The system has worked for two years. The administrators have been faced many problems. It is important to reduce the cost of the maintenance.

The proposed architecture by using the concept of PICKLES will reduce the cost of the maintenance of the system.

key words PICKLES OS , Fixed Point Observation System , Maintenance Method